

## 序論

- ・ 「分かったつもり」で進めると失敗する  
(説明書を読まない家具組み立て・料理のたとえ)
- ・ 信仰も同じ  
— 中身を取り違えると「空しい信仰」になる
- ・ コリント教会の問題  
— 復活を疑う者がいて、信仰の土台が揺れていた
- ・ 今日のテーマ  
— 私たちが本当に握りしめるべき福音とは何か

## I. 福音によって立ち、救われる(1-2 節)

- ・ パウロの呼びかけ:「兄弟たち」
- ・ コリント教会も、私たちも  
— 同じ一つの福音の上に立っている
- ・ 救いの鍵は「福音を保持すること」
  - 「保持する」= しっかりと握って離さない(カテコー)
- ・ 信仰は「ほんやり信じる」ことではない
- ・ 救いは
  - 私たちの熱心さや努力ではなく
  - \*\*信じている内容(福音)\*\*による
- ・ 福音の中身を失った信仰は空しい

## II. 最も大切なこと — 福音の中身(3-8 節)

### 1. キリストは死なれた(3-4a 節)

- ・ 私たちの罪のための死
- ・ 「聖書に書いてあるとおり」
  - 神様のご計画に基づく十字架
- ・ 仮の死ではなく、完全な死
  - 葬られた事実がその証拠
- ・ キリストと共に  
— 罪人としての私たちは死んだ

### 2. キリストはよみがえられた(4b 節)

- ・ 復活は「心の復活」ではない  
— 死に対する勝利

- ・ 「聖書に書いてあるとおり」
    - 神様のご計画としての復活
  - ・ 多くの証人による歴史的事実
    - ペテロ、十二弟子、五百人以上
    - ヤコブ、使徒たち、パウロ
  - ・ 福音は
    - 教えではなく「事実」
- 

### III. 恵みの実例 — パウロの人生(9-10 節)

- ・ 教会を迫害していたパウロ
    - 「使徒と呼ばれるに値しない者」
  - ・ しかし
    - 「神様の恵みによって、今の私になった」
  - ・ 人生を 180 度変える福音の力
  - ・ 働いたのは自分ではなく
    - 共にあった神様の恵み
- 

### 結論

- ・ 「最も大切なこと」を取り違えてはいけない
- ・ 信仰の土台は
  - 熱心さ・行い・感情ではない
- ・ 土台はただ一つ
  - キリストの十字架と復活という福音の事実
- ・ 私たちは
  - この福音によって立たされ
  - この福音によって救われ
  - この福音によって今も生かされている
- ・ 福音を
  - 「知っているもの」ではなく
  - 「今日も握りしめて生きるもの」として歩もう